

# 笑楽幸

土佐清水市立清水小学校  
校長室便り 令和3年9月14日

## 秋を感じる季節となりました！

2学期が始まり2週間ほど経ちましたが、お家での検温が定着しているのか「おはようございます」のあいさつの後は、「30度〇」「3〇.〇」と元気よく朝の体温を伝えてくれます。またその後は、手指消毒をして下駄箱に向かう姿は、当たり前のように定着してきているように思います。

コロナ感染症の予防のためだけでなく、元気なあいさつや「自分の身体の調子を知るための体温チェック」などはこれからも続けていき、習慣になればいいなあと思うこの頃です。

さて一昨日は決して最高のコンディションとは言えなかったとは思いますが、中学校の体育祭が行われました。開始直前に降り出した雨の影響もあり、開始時間を遅くしての競技となったようです。

3年生にとってはコロナ禍で中学校生活の半分以上が本当に我慢しての生活、そして最後の体育祭だったと思います。

やりたいこともずいぶんあった中で、我慢しての実施ですが少しでも心に残る体育祭ができていたことを祈るばかりです。保護者の方に聞いた話では、3年生の競技を優先して、ぬかるみに足を取られながらも頑張っていたとのことですが、本当にお疲れ様でした。

みなさんが困難の中で頑張ってきたこれまでの中学校生活での経験はきっと生かされるはずで、頑張ってください。ファイトです。

中学生に向けてのメッセージとなりましたが、同じことが小学校のみなさんにも言えることです。中学生だけでなく、みなさんも2年近くさまざまなことを我慢し、できることを頑張ってきました。

運動会は昼まで、6年生の組体操もできません。6年生としての力を見せる機会が本当に少なかったことは確かです。したくてもできなかったのですが、『何も咲かない寒い日は、下へ下へと根を伸ばせ。やがて大きな花が咲く』と言うことばがあります。仕事もスポーツも我慢し、努力している人が報われると思います。『努力無限！』です。

6年生は小学校生活もあと半年ほどとなりましたが、できることをしっかりと頑張してほしいものです。

## ◆◆◆お知らせ◆◆◆

学校だよりでもお知らせをしましたが、10月9日は防災参観日となっています。市内の保育園では運動会があるようですが、小学校の参観日は午後からになっています。また講師の先生は『慶

應義塾大学 准教授 大木聖子先生』で土佐清水市のほとんどの小中学校の防災教育に係わってくださっている先生です。

土佐清水市のことをよく知ってくれていますし、今後近いうちに来ると言われている南海トラフ地震への減災についてたくさんのご示唆をいただくことができると思います。

保育園の保護者のみな様には、終日の行事となりますが、『命を守る教育』を進めるためとご理解をいただき、1人でも多くの方に参加していただければと思います。

なお参観日当日の日程につきましては、すでにご存じとは思いますが、5時間目に全学年で公開授業があり、その後5、6年生と保護者で講演を聴くようになっています。(1～4年までは下校)

その日は、全校児童を対象に防災・減災についての宿題(家族会議)を計画しておりますのでご理解ご協力をお願いします。※なお家族会議等の内容については後日配布するお手紙を見ていただきますようにお願いします。

## 食欲の秋！？

一年中食べ物は美味しく感じますが、それでも季節にあった食べ物はとても美味しく感じるものです。

さてみなさんは『秋』と言えばどんな食材や料理を思い浮かべますか？

秋の料理ではないですが、9月に入り学校給食では、【ぐるぐるカレー、スパゲッティがたべたいよ、エビフライをおいかけろ、おだんごスープ】という本の中に出てくる料理が給食として出てきています。今日は第三弾の【エビフライをおいかけろ】からそのまんまのエビフライが出てきました。エビフライは給食が始まって初めてのメニューと言うことで少し驚きですが、子ども達の反応はどうでしょうか。

明日の給食には十五夜にかけていますから、おだんごスープが出てきます。どんな料理になっているのかは見てのお楽しみです。みなさんには季節の食材を味わって食べてほしいものです。

さて『食欲の秋』と書きましたが、学校給食では残食の多さが気になります。昨年までは平均3%程度の残食率でしたが、今年に入り5～6%の残食率です。

この量が多いのか少ないのかは保護者のみなさんにはわかりにくいかもしれませんが、清水小学校以外の小学校の残食率はほぼ0%となっています。基本アレルギー対応もしているの、食べ残しはほとんどありません。またこの時期の子ども達は食べ盛りでもあります。本当に好き嫌いで残す人が多くいるのも確かです。

『食』の在り方が心と体を豊かにします。みなさんの願いからできた学校給食です。これからもバランスのとれた給食を本当に大切にしていきたいものです。

ぜひお家でも、今回の本に出てくる料理をきっかけに話をしてみてはどうでしょうか。

明日は十五夜。お月見は無理でしょうか？台風の影響もないことを祈るばかりです。

